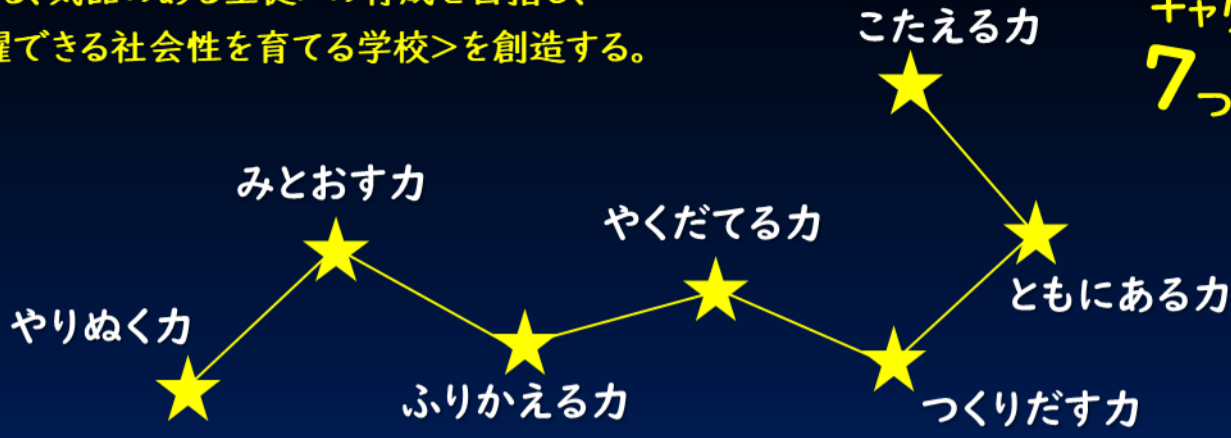


学校経営ビジョン

学び合いのなかで

<真理を探究し、勤労を愛する、気品のある生徒>の育成を目指し、
<北斗のように県内外で活躍できる社会性を育てる学校>を創造する。

常に高く、北斗のように...
キャリア教育を通して育てたい
7つの資質・能力



7つの力

生徒が力を発揮したときに期待したい行動

私たち教師の約束

やりぬく力	みとおす力	ふりかえる力	やくだてる力	つくりだす力	ともにある力	こたえる力
<p>★探究をやりぬく★ 自分で見つけた「正解のない問題」に自分なりの答えを出していく。そして、そのくりかえしをおもしろがる。</p> <p>★仕事をやりぬく★ 自分の仕事に創意工夫を加えることによって、今ある仕事を「自分にしかできない仕事」に育てていく。</p>	<p>★未来をみつめる★ 「将来やりたいことは何か」「卒業したらどうしたいのか」等、ひとまずの答えを自分で出してみよう。</p> <p>★手帳を使いこなす★ Hokuto plannerや自分で選んだ手帳を生活のなかで活用し、見通しを立てたり、生活を調整したりする。</p>	<p>★目的 → 振り返り★ 活動を開始する前には目的や目標を確認し、それらがどの程度達成できたかを、振り返ってみよう。</p> <p>★自分で調整する★ 自分の現状をメタ認知しながら、自分に合った学び方を試行錯誤するとともに、学ぶべき理由をハッキリさせる。</p>	<p>★視点を見つける★ 授業で学習した視点や自分で発明した視点を使いながら、様々な物事を考えて、自分の言葉で説明してみよう。</p> <p>★視点を役立てる★ 総合的な学習の時間の中で、様々な教科で学んだ視点を持ち出し、組み合わせながら探究活動に取り組む。</p>	<p>★議論に参加する★ ペアやグループ、教室全体での議論に参加し、議論することの良さを実感したり、アイデアを生み出したりする。</p> <p>★すごいメモをとる★ いろんな場面で積極的にメモをとったり、メモの取り方自体を探究し、自分に合ったメモの取り方を編み出す。</p>	<p>★ファミリーになる★ 先輩(後輩)と一緒に活動したり、E級の教室に遊びに行ったりして、多様な人間関係からの学びを手に入れる。</p> <p>★自他を守りあう★ 自分や相手の命(登下校ルールや感染症)や権利(人権)を守るための行動を考え、実践することができる。</p>	<p>★期待に応える★ リーダーとして、あるいはフォロワーとして期待されていることを読み取り、それに応える行動を増やしていく。</p> <p>★宮附を背負う★ 自分の身だしなみや言葉づかい、ふるまいが「宮大附属中」を象徴しているという自覚をもって行動する。</p>
<p>探究人になる</p> <p>教師自身がテーマをもって探究する。ときには自分の探究について生徒に語ったり、生徒と交じって発表したりする。</p>	<p>逆算して語る</p> <p>明日のこと、来週のこと、来月のこと、将来のこと……。いつでも未来から逆算して生徒に語る。</p>	<p>想定を超える</p> <p>生徒たちの体験について、生徒たちの想定を超えるような意味づけを行い、体験からの学びをより豊かにする。</p>	<p>同僚を語る</p> <p>同僚が授業で教えている視点について、自分の授業で語ってみたり、自分の授業に同僚を招いてみたりする。</p>	<p>伴走者になる</p> <p>生徒たちとともに創造に向かい、現状を批判し、未来を創造していく活動と一緒に取り組んでいく。</p>	<p>意識高い系になる</p> <p>生徒たちの困っていることを、生徒たちよりも先に言語化し、一緒に考えたり、解決策を提案したりする。</p>	<p>気品をふるまう</p> <p>「気品ある大人って、うちの先生たちのことだよ」と思ってもらえるように、たくさんの気品をふるまう。</p>

7つの特色あるアクション

<p>自分をつくり社会に参加する 探究学習</p> <p><君たちは宮崎のためにどう生きるか>をコンセプトに、学びの集大成の場とする。</p> <p>仕事を探究していくことを通して、自己の創造と社会参加を重ね合わせて探究できるようにする。</p>	<p>見方・考え方を働かせて学ぶ 教科教育</p> <p>各教科の見方・考え方を働かせながら、粘り強く考え抜くことができるようにする。</p> <p>各教科の見方・考え方を可視化し、教師間/教師・生徒間/生徒間で共有できるようにする。</p>	<p>多様な他者との共生を探る 人権教育</p> <p>マイノリティの視点に立ちながら、多様な他者との共生の在り方を探究できるようにする。</p> <p>道徳的な問題に対して、当事者性をもって(自分事として)考えたり、対話したりすることができるようにする。</p>	<p>多様な他者との協働を探る 交流活動</p> <p>特別支援学級と通常学級の交流活動を通して、協働の在り方を探究できるようにする。</p> <p>異学年集団による活動を通して、先輩や後輩、リーダーやフォロワーとしての在り方を探究できるようにする。</p>	<p>見通しと振り返りで学びを生み出す 学校行事</p> <p>学校行事の目的や目標の実現に向けて、見通しをもって取り組めるようにする。</p> <p>振り返り活動を通して、学校行事での体験を生徒それぞれが意義づけ、学びを得られるようにする。</p>	<p>学びを記録し、つなげ、再生産する 情報生産</p> <p>授業や日常の学びや発見を記録し、自分の成長につなげることができるようにする。</p> <p>年4回の自己成長レポートや自分の学びを見返し、それらをもとに情報を再生産することができるようにする。</p>	<p>生き方を学び 学び方を学ぶ 日常生活</p> <p>MILK TIME、自己調整の時間、朝読書を通して、生き方や学び方を学ぶことができるようにする。</p> <p>様々な状況において自分に求められていることを読み取り、行動できるようにする。</p>
--	--	---	--	--	---	--

3つの根

<p><計画的偶発性>を視野に入れる</p> <p>たまたまめぐりあった人や情報、学びが、自分の人生を大きく変える幸運(ラッキー)へと変わる。あらゆる教育資源を最大限に活用し、幸運(ラッキー)を呼び込もうとする構えを求めよう。</p>	<p><パターン・ランゲージ>を問い続けよう</p> <p>学校生活のなかで学ぶ「生きる方法」を<パターン・ランゲージ>と呼ぼう。様々な教育活動において、「生徒たちはどのように<パターン・ランゲージ>を学び得るか」を常に問い、考え、実践し続けよう。</p>	<p><自律的動機づけ>を求め続けよう</p> <p>自律的動機づけとは、活動の目的を自覚し、「自分の成長や将来につながるから取り組む」という動機づけである。「評価されるから取り組む」、「怒られたくないから取り組む」という動機づけを認めつつ、自律的動機づけを求めていこう。</p>
--	---	---